

独居老人訪問事業 【三重県木曾岬町】

=ヘルスマイトによる弁当配食を通じて=

(実施期間) 平成 22 年度～平成 24 年度 (基金事業メニュー) 普及啓発事業
 (実施経費) 平成 24 年度 50 千円 (実施主体) 三重県木曾岬町

【事業の背景・必要性・目的】

木曾岬町食生活改善推進連絡協議会にお弁当配食を委託、担当するヘルスマイトにメンタルパートナーの役割を担ってもらい、孤立化防止のため独居の高齢者の自宅へ訪問してもらうことで、より近いところでの見守りと、自殺予防対策の普及を目的としている。

*メンタルパートナー 三重県が身近に気づいて見守ってもらう人を増やそうとメンタルパートナー養成事業を実施しており、養成講座のマニュアルに沿って講座を受けた人。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

人口は少ないが、平成 19 年以降毎年 1～4 名の自殺者があり、近隣の市町に比べても自殺死亡率が高いことが多い。年代別では 20～30 代、50 代、高齢者(70 歳以上)であることから、この事業においては、高齢者対策の一つとして実施した。

総人口	年齢 3 区分別人口		
	年少 (0～14 歳)	生産 (15～64 歳)	老年 (65 歳以上)
6,806	762	4,489	1,555

平成 24 年 4 月 1 日現在

【事業目標 事業内容】

年度当初にヘルスマイトを対象にメンタルパートナーの養成講座を実施し、年 3 回の弁当配食と 1 回の会食の際の高齢者への見守りと声かけの実践。

【事業実施にあたっての運営体制】

弁当づくり、配食については、木曾岬町食生活改善推進連絡協議会が実施。弁当の希望調査等は地区の民生委員が直接面接にて把握し、木曾岬町の管理栄養士が連絡等調整している。

メンタルパートナー養成講座は、ヘルスマイト会員を対象に町の保健師が町の現状を加えて実施。

【事業の工夫点】

弁当の配食は実施していたが、今年度より自殺予防対策の一環として、身近なところで気づいてもらえる人材として地域のヘルスマイトに自殺予防対策と地域のつながりの大切さを意識してもらった。

【事業成果、その他特筆すべき点】

食を通じていることから受け入れられやすく、地域で近くに住まわれている方と顔つなぎができる。



<ヘルスマイトによるお弁当づくりの様子>

(問合せ先) 三重県木曾岬町福祉健康課
TEL 0567-68-6119
E-mail: hokenshi@town.kisosaki.mie.jp